

1. ことばとおぼえる ひらがなワーク (2008年3月発行)



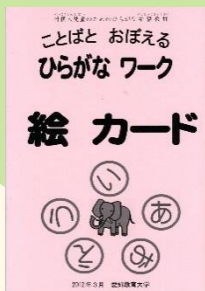
日本語がまったくわからず来日した外国人児童・生徒がすぐ覚える必要のある言葉を覚えながら、ひらがなを学習できる教材です。外国語を使わずイラストで言葉の意味を示しています。

2. ことばとおぼえる かたかなワーク (2009年3月発行)



大学院生が中心となり作成した教材です。かたかなの文字を覚えるだけでなく、その文字を用いた単語や短文を作ったり読んだりすることで定着をはかることができます。絵でことばを覚えられるように工夫してあるので、どのような子どもでも分かりやすく学ぶことができます。

3. ことばとおぼえる ひらがなワーク 絵カード (2010年3月発行)



『ことばとおぼえる ひらがなワーク』の本冊に準拠しており、学習に役立つように作成されたカードセットです。カードの裏面にことば、表面にそのことばの意味を表した絵が書いてあります。本冊でそのことばが最初に提示されるページ数もカードの裏面に記載されています。語彙の獲得のためやことばの意味の確認のために用いたり、かるた風ゲームで遊んだりして、状況に応じて自由に使用することができます。

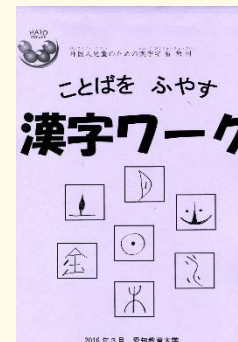
4. たのしくおぼえる ことばワーク (2010年3月発行)



「ことばとおぼえるひらがなワーク」・「ことばとおぼえるかたかなワーク」の続編として作成した、ことばの学習を中心としたワークです。

外国人児童・生徒にとってすぐに覚える必要のあることばを場面別・種類別に分けてあります。絵で分かりやすくして、書き方を覚えるための工夫も凝らしてあります。長音・拗音の間違が多い子どもに対して、正しい書き方の練習帳としても用いることができます。

5. ことばをふやす 漢字ワーク (2011年3月発行)



日本語を母語としない外国人児童生徒が楽しんで漢字を覚え、同時にその漢字の意味から漢字熟語の意味を類推し、分かる語彙を増やしていくことを目的とした教材です。

本教材の漢字は小学校4年生で新しく習う漢字から選んであります。絵や易しいことばを使って意味の理解を助けることにより、類推力を鍛え、ことばを増やす活動ができるように作られています。